現状と課題

1. 現状

(1)主な取り組み

項目	事業等	内容
啓発・情報提供	男女共同参画講演会	・男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについての啓発
	人権講演会	・人権意識の醸成による男女共同参画の推進
	出前講座	・男女共同参画の啓発
	市広報・ホームページ、ヒッツ FM、労政555、ポスター展示など	・国、県、市の支援策の周知 ・ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進に取り組む事業所の紹介 ・労働実態調査等の結果の公表 ・DV、ハラスメントの防止啓発
スキル・ノウハウの提供	男女共同参画講座	・男女共同参画社会実現のための具体的なスキルの提供
	WLB講師派遣	・事業所等のワーク・ライフ・バランスに関する取り組み推進のためのノウハウの提供
	セミナー	・女性の起業やキャリア形成
就労支援	中小企業事業所内保育施設運営費補助	・子育て世代が働きやすい職場環境づくりの促進
	高山市勤労者生活安定資金	・育児休業後の職場復帰の支援
	就職ガイダンス、無料職業紹介所	・就職活動の支援
	放課後児童クラブ、保育園、夜間保育、休日保育など	・保護者の就労支援
	病児保育など	・子の病気等への対応
相談体制	女性相談	・DV相談に対する助言、一時保護の実施
	無料法律相談	・社会的弱者の支援・救済
調査	市民意識調査	・男女共同参画に関する市民意識の実態把握、分析及び課題の検討
	高山市労働実態調査	・事業所の労働条件等の実態把握、分析及び課題の検討
推進	会議など	・男女共同参画推進懇話会、男女共同参画推進会議の開催
	協働のまちづくり	・地域づくり活動における男女共同参画の推進

(2)社会経済情勢の変化等

- ・働き方改革やワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みが進むなか、労働慣行の変革や各種制度の充実が求められている。
- ・性的少数者が受ける困難の解消など、性の多様性を尊重する社会的な意識が高まりつつある。
- ・ひとり親家庭の増加、非正規雇用の増加、DV被害などが社会問題となっている。

(3)男女共同参画市民意識調査結果 参考資料1

- ・夫婦間のコミュニケーションの改善を求める傾向が依然として高い。
- ・男性の家事への協力を改善して欲しいと思う人の割合が高い。
- ・男女の平等に関する意識は教育の場では高くなっているものの、全体では横這いである。
- ・ワーク・ライフ・バランスの認知度は上がっているものの、現状と理想のバランスが一致しない人の割合が高い。
- ・働く場において、昇進を望む女性の割合が低い。
- ・地域では男性の方が活躍しているという意識が高い。
- ・多様な性を認め合う社会を作るための取組が必要であるとする意識が高い。

(4)高山市労働実態調査結果 参考資料2

- ・女性正社員の平均所定内賃金は上昇している。
- ・育児休業制度のある事業所の割合は上昇している。
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる事業所の割合は上昇している。
- ・男性の育児休業取得率は低い割合で推移している。
- ・一般事業主行動計画策定率は低い割合で推移している。
- ・介護に関する制度を導入している事業所の割合は、低くなっている。

2. 課題

平成11年度に高山市男女共同参画基本計画を策定以来、講演会の開催やワーク・ライフ・バランス講師派遣、保育サービスの充実などの取り組みをすすめてきた結果、ワーク・ライフ・バランスの認知度や教育現場における男女の平等感の上昇、育児休業制度のある事業所割合の上昇など、一定の成果はみられる。

男女共同参画社会の実現に向けては、これまでの取り組みを継続するなかで、多様な生き方を認め合える社会の形成や、家庭・職場・地域において、性別による固定的役割分担が解消され、女性が安心して活躍できる環境づくりといった観点からの取り組みをより一層進めていく必要がある。